

# 「小型無人機の飛行位置把握に係る無線システムの調査検討会」について

本調査検討会では、小型無人機（ドローン）の長距離飛行へのニーズが高まる中、このドローンが地上から10km程度離れた見通し外を飛行している際の位置情報等を適確に把握可能な電波を使った「新たな飛行位置把握システム」について、ニーズの抽出や技術的条件等の検討を行う。

## 【本システムに期待されるアドバンテージ】

- ・携帯電話エリア外での使用、データ取得の即時性等
- ・装置の小型化、低消費電力化、低廉化等

## 新たな電波利用ニーズ

### <調査検討事項>

- ① 本システムの利用が期待される分野、扱う情報内容に対するニーズの抽出
- ② 本システムの基本構成、技術的条件の導出（実フィールドにおける検証を予定）

### <効果>

- ① 本システムの特徴が発揮できる利用形態が最適化され、ドローンの長距離飛行時の安全確保に寄与
- ② 「新たな飛行位置把握システム」の実用化に向けた技術基準の策定、制度化等への寄与



本調査検討会では、福島県の協力を得、「福島浜通りロボット実証区域」において、公開の実証試験を行う計画です（平成30年1月を予定）。